



ひとりひとりが日本

“3つの柱と9の政策”

1
の柱

日本人を豊かにする

～経済・産業・移民～

1

“集めて配る”より、まず**減税**

減税と社会保険料の削減により、国民負担率を35%に抑え、積極財政による経済成長で国民の豊かさが持続的に高まる経済構造を実現します。

2

日本はまだ間に合う**“NO! 移民国家”**

労働力不足の解決を、安易な移民依存に委ねません。適正な人口計画を立て、外国人労働者の受入れと外国人の土地取得を制限します。

3

現場の人が支える日本

製造業、建設業、運送業、医療介護福祉や警察・消防・自衛官等、現場で汗をかく方々の待遇を改善し、安心して働ける社会をつくります。

2
の柱

日本人を守り抜く

～食と健康・一次産業・エネルギー～

4

食は人の天なり

食を守ることは国家の安全保障そのものです。食の安全を向上させ、食料自給力を高め、国民が決して飢えることのない体制を整えます。

5

エネルギーと資源確保が**生命線**

諸外国も見直しを進めている脱炭素政策を再構築します。再エネ賦課金を廃止し、安く、安全で安定したエネルギーを国内で確保します。

6

安心医療で**健康国家**

過剰な医療や非効率な仕組みは見直しつつ、予防を重視した体制へ転換し、子どもから高齢者まで、すべての人の健康と安心を支えていきます。

3
の柱

日本人を育む

～教育・人づくり・国家観～

7

子ども一人につき**月10万円**

0～15歳の子ども一人につき月10万円の教育給付金を支給し、若者が子供を授かり育てたいと思える環境をつくります。

8

受験戦争からの解放

偏差値重視の教育から脱却し、ひとりひとりの個性、強みが正當に評価される教育へと転換します。健全な人格を育む場にします。

9

日本はみんなの**家**

日本の国力が衰える中で、国際情勢も緊迫してきました。「ひとりひとりが日本」という意識改革を起こし、日本の豊かさと平和を守ります。

今、我が国は長期の景気低迷により国民生活が疲弊し、世界では紛争、食料やエネルギー問題、少子化や移民問題など、国の存亡に関わる課題が山積しています。将来が見えにくい社会の中で、日本人としての価値観も揺らいでいます。今こそ政治や報道に任せきりにせず、「ひとりひとりが日本」であると自覚し、考え行動する時です。未来を変える力は、私たち自身の覚悟にあります。 **日本はまだ間に合う。**

比例は 参政党

とお書きください。

参政党の政策は▶
こちらの特設サイトから！



杉山しずお プロフィール 昭和58年生まれ。栃木県宇都宮市出身。妻と子2人(小学生の男児)の4人家族。 陸上自衛隊などでの勤務を経て、市役所にて議会事務局や市長秘書などの業務に従事。 コロナ禍を通じ政治参加することの必要性に気付く。誰もが心豊かに暮らせる国づくり、地域づくりを目指す。

参政党公認

すぎやま
杉山しずお